

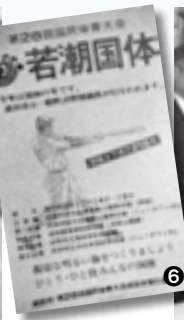


国体の記憶 19

このコーナーに登場してくれる人を募集します。
くわしくは広報課（☎20-1503）へ。

写真で振り返る「若潮国体」

昭和48年、千葉県で開催された「若潮国体」。軟式野球の会場地・成田市も、国民スポーツの祭典に沸き返りました。写真で往時を振り返ります。



①激戦を勝ち抜いた29の都道府県チームが開会式会場の大谷津球場に整列②香取神宮で採火された炬火きよかを手に120人の若人が市内をリレー③前日祭では小学校の鼓笛隊や婦人会が表参道をパレード。「国体音頭」でムードは最高潮に④駅前案内所やゲートを設け、成田を訪れる人たちを歓迎⑤前年開催地・鹿児島市から引き継がれた「国体旗」。市長のメッセージと「友情の種子」も贈られた⑥国体PRのポスター。公共施設や商店など町の至る所に掲示された⑦千葉県チームは決勝で東京都チームと対戦。9回裏、同点のチャンスを迎えたが本塁寸前でタッチアウト。惜しくも優勝を逃す



編集後記

県無形民俗文化財に指定されている「成田のおどり花見」取材しました。旧成田町の7カ町によって毎年持ち回りで行われ、当番町の女人講が神社などを回って踊りを奉納します。祭礼行事は昨今、参加者の都合もあり土日に開催されるところが多くなりましたが、おどり花見は毎年4月3日。弥勒踊りの前に社前で称え歌が始まり、着物姿の女の子が太鼓をゆったりと打ち始めると、その可愛らしさに感激です。最後の社に着いたころには陽が落ち、辺りは真つ暗に。古式にのっとった伝統ある行事が、絶えることなく続くことを祈ってやみません。



成田市役所本庁舎(行政棟、議会棟、消防本部、成田消防署)はISO14001の認証登録を受けています。